様式10－A

偶発債務（係争中の訴訟等）集計表（平成22年度）

（所管等）

裁判所所管

（単位：百万円）

名称等（訴訟名等）	金額	事件番号	概要（簡単な説明、今後の予定等）
民事事件に起因するもの			
国家賠償請求事件	0	最高裁23オ[redacted]	原告の司法行政文書の情報開示請求に対し，当該文書が開示の対象であるにも関わらず不開示の決定をしたのは不当であるなどとして，損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁23オ[redacted]/23受[redacted]	原告は，調停事件全記録の閲覧・謄写申請をしたところ，記録係の書記官により，一部の記録について閲覧・謄写を拒絶されたが，後日，裁判官により，この拒絶処分の取消決定がなされたこと及び前記調停事件とは異なる調停事件について，証明申請をしたところ，書記官の勝手な解釈により拒絶処分がなされたこと等により印紙代，交通費等の損害を被り，精神的苦痛も被ったと主張して損害賠償を求める事案である。[redacted]上告棄却確定
国家賠償請求事件	2	東京高裁23ネ[redacted]	原告が申立てた仮差押えの執行について，急を要するものであったのに，執行官は，故意に仮差押えの執行の日時を先送りにしたため，債務者が高価な動産を隠匿してしまい仮差押えが不能か著しく困難となったが，隠匿場所を問い質した上で仮差押えをすべきであった。債務者の移転先において民事執行法131条に該当するとして仮差押えを執行不能としたが，仮差押えをすべきであったなどと主張し，関係した執行官らの忠実でない執務により損害を被ったとして損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	24	東京高裁23ネ[redacted]	原告が競売手続によって取得した土地を売却しようとしたところ，間口が2メートル未満で再建築ができない土地であることが判明した。評価人が作成した評価書には，間口約3メートルとの記載があり，土地を取得するに際し，再建築ができない土地であることはわからなかった。評価書の誤りと評価人の判断の誤りを見落とした裁判所には監督上の過失があるなどと主張して，損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	5	福岡高裁23ネ[redacted]	担保不動産競売事件において，執行官が，現況調査報告書に，本件建物の便所は汲み取り式であること等を記載せず，また，評価人が評価書に虚偽の評価を記載したという二人の不法行為により，原告は本件建物を買い受けることとなったため，工事費等の損害及び精神的苦痛を被ったと主張して損害賠償を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	49	那覇地裁23ワ[redacted]	工作物収去土地明渡し判決に基づく収去の代替執行がされたが，同土地は原告が上記判決の被告から賃借して使用していたものであるから，この代替執行は原告を当事者としない判決に基づく違法な執行であると主張して，工作物の復元，伐採された樹木の損害等を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	75	京都地裁22ワ[redacted]	担保不動産競売事件において，原告が競落した土地の現況調査報告書及び評価書には，産業廃棄物の投棄がある旨の記載がなかったが，競落した土地の一部に産業廃棄物の投棄が見つかり，意図していた土地利用が不可能となり損害を被った。実地において詳しく調査確認すれば，産業廃棄物の投棄は容易に発見しえたはずであり，この点を看過して作成された現況調査報告書及び評価書には重大な過失がある。また，これらの書面の提出を受けた裁判官は，本件土地が山林であることから，現地での詳しい調査確認を執行官及び評価人に促すなど，その正確性について確認を行うべき注意義務があったのに，それを怠った過失があるなどと主張して損害賠償を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	大阪地裁23ワ[redacted]	原告が当事者となっている別件の簡裁訴訟において，期日に出廷した相手方に退席を指示して，同訴訟を取下げ擬制（民訴263条）として終了させたのは，原告の裁判を受ける権利を侵害するものとして慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	札幌高裁22ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟で，担当書記官が，申立人に確認することなく一方的に期日呼出状を送付した，傲慢な態度で対応した，忌避の申立てをしたところ当該書記官と同じ係に配てんされた，原告が提出した書証番号を無断で付けかえた，一度も口頭弁論が開かれなかったなど，不当な処分を受けたなどと主張して，提起した事件にかかる印紙代，郵便料の損害賠償及び慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	仙台地裁20ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟で，担当書記官が不当に郵便切手を使用し損害を与えた，裁判官が不当に訴訟救助の申立てを却下したため損害を受けたなどと主張して損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	東京高裁23ワ[redacted]	原告が当事者である別件訴訟において，必要もないのに特別送達を利用することによって，経済的負担を強いられたなどと主張する事案である。[redacted]控訴棄却確定
国家賠償請求事件	0	仙台地裁21ワ[redacted]	原告が当事者である別件訴訟で，被告側から和解の申入れがあり，解決の目処が立っていたのに，裁判官の不当な訴訟指揮により，和解による経済的利益を得ることができなくなった等と主張し，慰謝料を求めるもの。また，原告が，簡易裁判所に申し立てた事件を，再三の申入れにも関わらず地方裁判所に移送し，廉価で簡易迅速に簡易裁判所で裁判を受ける権利を侵害された等と主張して慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	88	最高裁23オ[redacted]/23受[redacted]	原告が当事者の別件訴訟において，裁判官が，付与された権限に違背する注意義務違反により，被告会社が原告所有物件を処分するよう仕向け，原告の権利侵害をしたなどと主張して損害賠償を求める事案である。[redacted]控訴棄却確定
国家賠償請求事件	0	最高裁23オ[redacted]/23受[redacted]	原告が申立人の調停事件において，調停委員が，相手方に一方的に有利な条件を，原告に対して無理矢理に承認させようと暴言を吐き貶める不法行為により，精神的被害を受けたとして，損害賠償を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	松山地裁23レ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，地裁の裁判官が，最高裁の唱える民事裁判の使命即ち「双方の言い分を確かめ，証拠を調べた上で」から逸脱し，結果として誤審判決をなしたことにより精神的な苦痛を被ったなどと主張して慰謝料を求める事案である。審理中

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明、今後の予定等)
国家賠償請求事件	0	松山地裁23レ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，高裁の裁判官が，最高裁の唱える民事裁判の使命即ち「双方の言い分を確かめ，証拠を調べた上で」から逸脱し，結果として誤審判決をなしたことにより精神的な苦痛を被ったなどと主張して慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	2	広島高裁22ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，高裁の裁判官が，争点の審理をしないで結審して裁判妨害をしたこと，地裁の裁判官が偽造判決を下したことにより，「裁判を受ける権利」を侵された等と主張して損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁23オ[redacted]/23受[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官の違法行為により著しく精神的苦痛を受けたなどと主張して，慰謝料を請求する事案である。[redacted]上告棄却確定
国家賠償請求事件	1	東京高裁22ネ[redacted]	原告が当事者の民事調停事件において，裁判所及び調停委員は，原告を侮辱する言葉を繰り返し，原告に不当に責任を帰する形で職務放棄した等と主張して損害賠償を請求する事案である。[redacted]控訴棄却確定
国家賠償請求事件	1	大阪地裁227[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，法廷が開かれなかったなどと主張して損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	10	広島高裁23ネオ[redacted]/23ネ受[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が，訴訟進行において民族差別などを行い，不正な裁判を行ったことは憲法違反であるなどと主張して慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁23オ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が，原告が受けた詐欺を不起訴とした検察官等の行為について国家賠償を認めなかったなどと主張して損害賠償及び慰謝料を求める事案である。[redacted]上告却下確定
国家賠償請求事件	0	最高裁23オ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が，被告側に全面的に加担して，被告を勝訴させる目的で予断と独断による異常な訴訟指揮を行ったことから，原告が裁判官忌避の申立てを行ったところ，その裁判が確定する前に判決の言渡しを行ったことは違法であり，それにより多大な精神的苦痛を被ったとして慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	広島高裁松江支部22ネ[redacted]	原告が当事者である別件訴訟において，口頭弁論をテープに収録すること及び法廷での拡声機の利用を申し出たところ，裁判官が不当に拒否し，また国と結託して答弁書の提出がないまま不当に判決を行ったとして損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	1	最高裁23オ[redacted]	原告が提起した別件訴訟の控訴審において，原審では訴状訂正申立書を提出したために未陳述となっている訴状の記載を，裁判官らが認定判断の根拠として不適正な判決を行った。その後，不適正な判決によって再審の理由があることが明白であるにもかかわらず，裁判官らが不適正に再審請求を退けたと主張して，慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	8	広島高裁松江支部22ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が，すべての争点において虚偽事実の認定，公文書偽造の判決であることを熟知していながら虚偽の決定，虚偽の判決を行った。また職権乱用によって録音テープの反訳を認めなかった。書記官が，原告の証言の半分程度を削除するなど証言内容の趣旨を変更させた本人調書を作成した等と主張して，敗訴した事件の請求額相当の損害賠償及び慰謝料等を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	東京高裁23ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，原告は，建築訴訟専門部での審理を期待していたところ，訴状提出時には建築専門部の受理票を受領したが，その後，担当部が通常部となったことから，東京地方裁判所に対して，担当部が変更となった決裁文書，当初の担当部の部長あてに郵送した書面に関する対応に関する文書，事件名を損害賠償請求事件に変更した決裁文書，3件の司法行政文書開示の申立てを行ったところ，東京地裁総務課が，通達に定めのある30日以内に決定を行わず，約40日後に非開示の決定を行ったことは，原告の知る権利と裁判を受ける権利を侵害し，裁判所の情報公開に期待した原告の精神的苦痛は耐え難いとして，慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁23ク[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が出した補正命令に対する回答期限の延長を担当書記官に申し出て了解を得，延長期限内に補正文を提出したにもかかわらず，訴状を却下したのは裁判所内の連絡不十分であると主張して，本件の裁判費用を損害賠償として請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	東京高裁23ネオ[redacted]/23ネ受[redacted]	原告は，重大な瑕疵がある決定に基づきなされた執行手続により財産権を侵害されたなどと主張して，損害賠償及び慰謝料の一部を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	福岡高裁22ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が，不当な目的を持って判決をし，原告の財産権等を侵害したとして損害賠償を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	40	東京高裁23ネオ[redacted]	原告が提起した別件訴訟等において，裁判官が，証拠の評価を誤り，その結果，誤った判決や決定が行われたことにより，保険会社から保険金の支払を拒絶された等と主張して，保険金，弁護士費用等相当額及び慰謝料を請求する事案である。審理中

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明、今後の予定等)
国家賠償請求事件	20	東京高裁22ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が，架空の事実をもとに判決を行い，控訴審の裁判官も，職務の重責を忘れ，専ら原審の判断を追認した上，ありもしない取得時効の完成を宣言するなどして，原告に多大の不利益と精神的苦痛を与えたと主張して，慰謝料等を請求する事案である。[redacted]控訴棄却確定
国家賠償請求事件	3	千葉227[redacted]	原告は，市から競売手続により取得した不動産の内，公衆道路部分の土地を寄付するよう求められているところ，競売手続における物件目録に記載のある公衆道路部分の地積と市が作成した地積図に基づく同部分の地積が異なっているため，同部分の土地を市に寄付してしまうと残りの宅地部分で住宅が建てられないこととなる。地積の相異は，執行官が道路部分の確認を怠ったためであると主張して，損害賠償を請求する事案である。[redacted]訴え取下げ
国家賠償請求事件	0	東京高裁23ネオ[redacted]/23ネ受[redacted]	別件訴訟において，裁判官が不正直で失礼な差別的なやり方を示したことにより損害を被ったなどと主張して損害賠償等を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	新潟地裁長岡支部227[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が不当な判決を行ったなどと主張して損害賠償を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	福岡高裁23ネオ[redacted]	原告に対してなされた競売申立ては，申立人らの違法行為に基づくものであることが明白となったので，却下又は取り消されるべきである。違法な競売開始決定によって，原告の名誉と財産権は著しく侵害されたと主張して，競売開始決定の取消しと慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	4	東京高裁23ネ[redacted]	原告に対してなされた人身保護請求の判決には違法があり，手続は魔女裁判と見間違うものであって被った精神的苦痛は甚大であるなどと主張して，慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁23オ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官は，原告が弁論期日を録音テープに収録することの申出，準備的口頭弁論が必要である旨の申出を必要がないとして行わなかった。また，書記官は，原告の法廷における答弁を調書に記載するようお願いしたにもかかわらず，調書に記載しなかったなどと主張して，慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	東京高裁23ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官は，原告が行った証拠の申出を採用せず事実認定を誤ったなどと主張して損害賠償を請求する事案である。[redacted]控訴棄却確定
国家賠償請求事件	9	名古屋高裁23ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官は，被告が一度も法廷に顔を出さないのに原告を敗訴させたなどと主張して損害賠償を請求する事案である。[redacted]控訴棄却確定
国家賠償請求事件	0	福岡高裁22ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が，極めて不当な目的を持って明白に間違った判決をしたなどと主張して損害賠償を求める事案である。[redacted]控訴棄却確定
国家賠償請求事件	0	広島高裁23ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が原告が求めた争点を判断せず，職権濫用を行って，犯人を隠避したなどと主張して，慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	10	福岡高裁23ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟2件において，裁判官が違法かつ不当な目的をもって裁判をしたことに対して慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	広島地裁227[redacted]	原告が提起した別件訴訟の控訴審において，裁判官らは，被控訴人らに答弁させることなく弁論を終結し，違法な判決を行い，原告の裁判を受ける権利を害した。同事件において，書記官は偽りの弁論調書を作成したと主張して損害賠償請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	広島地裁227[redacted]	原告が提起した別件国賠訴訟において，被告国が十分な答弁をしていないにもかかわらず，裁判官は弁論終結し，判決をしたこと，前記内容を，原告は書記官に対し弁論調書に記載するよう要請したが，書記官はこれを記載しなかったこと，がそれぞれ不法行為にあたるとして損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁23オ[redacted]	原告が提起した別件訴訟の上告事件において，裁判官らは，原告がそれを記載しているにもかかわらず，「民事訴訟法第312条に規定する事由の記載がない。」として上告却下（原審却下）したことに対する損害賠償を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	金沢地裁227[redacted]	原告は，A訴訟と同内容の訴訟を改めて提起したところ，裁判所が再び当該裁判官に事件を配てんしたことは，不法行為にあたるとして損害賠償を求める事案である。審理中

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明、今後の予定等)
国家賠償請求事件	23	東京地裁22ワ[redacted]	原告らが提起した別件の訴訟において，原告らの勝訴的和解が成立したところ，同和解における債務者(被告ら)が金銭支払を怠ったので，和解における債権を実現しようとしたが，法務局において同申請は却下された。このように実現しない和解を成立させたことは，裁判官の詐欺行為であるとして，出資持分の移転登記を実現する形成力の裁判及び被告らが怠った金銭を支払うよう求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	松山地裁22ワ[redacted]	原告が当事者である別件訴訟において，裁判官が原告に対し，虚偽の説示をし，作為の判決をしたことにより精神的苦痛を受けたとして慰謝料を求めるもの。[redacted]請求棄却確定
国家賠償請求事件	5	東京地裁22ワ[redacted]	原告を拘束者とする別件人身保護命令事件における裁判官の手続は違法であることを主張して，精神的苦痛に対する慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	広島高裁23ネ[redacted]	原告が提起した別件国賠訴訟事件控訴審において，裁判官らは被控訴人(国)と結託して弁論終結したことが違法であるとして損害賠償請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	名古屋地裁23レ[redacted]	名古屋市在住の原告が，東京地裁において関心のある事件を傍聴したところ，裁判官の言渡しの声が聞こえず，当該判決の結果を知ることができなかったことは，知る権利を侵されたものとして，前記について，原告は東京地裁に対して質問状を送付したが，東京地裁が何らの回答をしなかったことは，原告に精神的苦痛を与えるものとして，交通費及び宿泊費の損害賠償及び慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	前橋地裁22ワ[redacted]	原告提起した別件訴訟において，裁判官が，証拠に基づく審理をしようとしないため，損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	1	さいたま地裁川越支部22ワ[redacted]	原告らが提起した別件訴訟において，裁判官が不当な訴状却下命令，判決文をねつ造するなど重大な犯罪を犯した高裁裁判官は，損保会社と癒着している裁判官であり，かつ，一審のねつ造された判決文をそのまま採用した最高裁裁判官らが，上告を棄却及び上告不受理としたことは，職務違反及び職権濫用であると主張して，原告が負担した郵券代等の損害賠償及び慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	1	広島地裁22ワ[redacted]	原告が提起した別件国賠訴訟において，裁判官が，原告の権利行使を妨害する目的で，虚偽の補正命令及び虚偽の訴状却下命令を発令し，訴状却下命令に対する即時抗告に対し虚偽の「却下相当意見」を付したことに対する慰謝料請求をする事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	東京高裁23ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が，当該訴えが二重起訴に当たるとして訴え却下をしたことは，不当であるとして損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	千葉地裁22ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟の控訴審について，原告が他に主張・立証があると発言したのにもかかわらず裁判を終結したことは，裁判を受ける権利を侵害するものであるので，裁判官個人及び国に慰謝料及び謝罪文の提出を，書記官に対して，第1回口頭弁論調書に原告の上記発言を記載するよう請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	100	広島地裁23ネ[redacted]	原告が提訴した別件訴訟において，裁判所が証人申請を採用しなかったこと，記録を最高裁へ送付するよう願い出たのに送ってもらえなかったことなどを主張して，これらの嫌がらせに対する慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	津地裁四日市支部22ワ[redacted]	原告が当事者である別件訴訟において，裁判官が公平な裁判をしなかったため，不当な侵害及び精神的苦痛等を受けたとして損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	1	東京地裁22ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，被告あての訴状の送達が奏功しなかったところ，裁判官は，被告の名字を一字誤った補正命令を発令，補正命令の期間経過後訴状却下命令を発すると共に，前記補正命令の被告の名字の誤りを更正決定で更正して同時に原告に送達した。このような手続により訴状却下することは，原告の裁判を受ける権利を奪うものである等主張して，慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	東京地裁22ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，原告が裁判官忌避を申し立てているのに，裁判所が現在まで何も決定しないのは違法であるとして，慰謝料を請求する事案。[redacted]請求棄却確定
国家賠償請求事件	1	大阪地裁22ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟の控訴審において，高裁が法廷を開かなかったこと，書記官が判決正本を警察署に送達したことなどが違法であり，同事件の手数料還付手続ができないなど主張して，慰謝料を求める事案である。[redacted]訴え却下確定
国家賠償請求事件	59	福岡高裁23ネ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官らは職権濫用による悪行の捏造・虚偽の事実認定をもとに判決をした結果，原告らは土地の所有権及び株式の所有権を侵害されたとして，損害賠償を求める事案である。審理中

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明、今後の予定等)
国家賠償請求事件	0	名古屋地裁23ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，原告は被告宛の再送速郵便を速達で行うよう書記官に上申したにもかかわらず，書記官は速達で発送せず，その送達が1日遅延したとして，その速達料の返還を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	高松高裁23ネ[redacted]	原告が提起した2件の国賠訴訟において，裁判官は，裁判官の使命である「双方の言い分を確かめ，証拠を調べた上，紛争の根因その事実の把握する」義務を一切果たさず，盲目的に1審判決の内容を認めた判決を下したことが違法であるとして，損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	名古屋地裁23ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟6件において，原告は簡裁に提起したのに，裁判所の都合で地裁に移送したのであるから，当事者に対する移送の通知費用は裁判所が負担すべきである，予納した郵券について，それを返還する際には使用明細を提示して返還すべきであると主張し，原告の財産権の侵害及び精神的苦痛を理由に損害賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	4	広島地裁23ワ[redacted]	原告が当事者となっている複数の別件訴訟において，裁判官が，違法な補正命令，即時抗告却下決定，訴状却下命令をした，相手方の詐欺及び出資法違反を容認する内容の判決を出した。書記官が虚偽の確定証明書を作成したなどと主張して，裁判官の処罰及び慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	佐賀地裁22ワ[redacted]	原告が当事者となった別件訴訟において，裁判官が相手方の虚偽の陳述を違法に容認し，原告の名誉を毀損したことに対する慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	大阪地裁23ワ[redacted]	書記官が，法廷において原告に対し，公然と侮辱したことに対する慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	高知地裁22ワ[redacted]	原告は本件相被告の住居において動産を競落したが，搬出のためにその場を2時間ほど外したところ，相被告に同住居の鍵をかけられ，現在においても引渡を受けていない。本件国賠事件は，執行官には競落人に動産を引き渡す責任があると主張して，主位的には動産引渡を請求し，予備的に，引渡しができないときには相被告らと国が連帯して，動産の代金，慰謝料等を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	東京地裁22ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が上告に伴う訴訟救助を却下後，不必要な補正命令を出したこと，書記官がバスに乗車中の原告の携帯電話に長時間電話をしてきたこと，特別送達の送達報告書の貼付位置を改替するよう指示したが，教育を施さなかったこと，原告の苦情に対する対応が不十分であること等の不法行為に基づく慰謝料等を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	5	東京地裁22ワ[redacted]	原告が当事者となった人身保護請求事件において，裁判所は具体的な要件を吟味せず，共同親権下にある子供の身柄を父母間で強制的に移転させ，原告の親権を剥奪したのは違法であると主張して，慰謝料を求める事案である。[redacted]訴え取下げ
国家賠償請求事件	0	大阪地裁23ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判所書記官が原告に送達すべき判決正本等を大阪府に送達したことにより精神的苦痛を被ったなどと主張して慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	3	奈良地裁23ワ[redacted]	原告が提起した国賠訴訟の上告審において，最高裁が判決によらず決定によって終局したことは，原告の裁判を受ける権利を侵害するものとして慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	大阪簡裁23少コ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判が2回の弁論準備手続において争点整理を怠ったこと，被告に対する尋問時間を，双方30分ずつと定めたが，尋問時に被告側の時間延長を許したのに対し，原告側の尋問時間を30分未満に制限する訴訟指揮を行ったことは，法廷を私物化し，本人の供述を妨げる違法行為に相当するとして，慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	福岡地裁小倉支部23ワ[redacted]	原告は少額訴訟事件を提起したが，書記官に言われたので，同事件を取り下げ，同内容の通常訴訟事件を提起した。その際，原告は，少額訴訟事件で添付した郵券を通常訴訟事件に添付するよう依頼したが，書記官に拒否された。書記官はこの郵券を郵送で返却したというが，原告の手元には届いていないので，郵券代及び慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	佐賀地裁22ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が，不当な目的を持って判決をし，原告の財産権等を侵害したとして損害賠償を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	佐賀地裁22ワ[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が，不当な目的を持って判決をし，原告の財産権等を侵害したとして損害賠償を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	1	松山地裁23ワ[redacted]	主位的に，原告がこれまでに提起した訴訟の判決及び却下命令等の内容に誤りがあるとして，各判決等が不成立であること又は誤った判決等が成立していることの確認を請求し，予備的に，原告が提起した訴訟の判決に誤りがあったとして，慰謝料を求める事案である。審理中

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明、今後の予定等)
国家賠償請求事件	0	大阪地裁227[redacted]	原告が提起した別件訴訟において，裁判官が法廷を開かずに証拠を隠滅したこと，書記官がその判決正本を理由もなく警察署に送達したことにより原告は殺人未遂事件の被害者となった等と主張して慰謝料を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	2	神戸地裁227[redacted]	原告と相被告らは，原告所有の土地建物について，本来は信用金庫を根抵当権者とする根抵当権設定契約をすることを原告が承諾して署名押印したにもかかわらず，相被告らが共謀の上，契約書を改ざんし，別の者を根抵当権者とする根抵当権設定契約を締結し，設定登記を経由する不法行為を行った。被告国は，前記不法行為を知りながら，また知り得たにもかかわらず，前記原告所有土地建物について競売手続を実施した不法行為があるとして，賠償を求める事案である。審理中
国家賠償請求事件	336	東京地裁227[redacted]	原告が提起した別件訴訟(原告は破産宣告後，復権を受けたので弁護士会に再度登録請求したところ，復権を受けていないとして進達拒絶の通知を受け，これを不服として，弁護士会会長個人を相手に訴訟提起したが，弁護士会の進達拒絶は「公共団体の公権力の行使」に該当するので会長個人は責任を負わないとして，請求棄却となった)について，主位的には，裁判所の判断に誤りがあるとして損害賠償を求め，予備的には，前記訴訟を国賠事件として構成し直し，損害賠償を請求する事案である。審理中
小計	894		
刑事事件に起因するもの			
損害賠償等請求事件	26	最高裁 (平23(オ)[redacted],平23(受)[redacted])	違法な捜索差押許可状発付 第一審/[redacted]/国に対する請求棄却/原告ら控訴 控訴審/[redacted]/控訴棄却/控訴人ら上告・上告受理申立て
損害賠償等請求事件	11	最高裁 (平23(オ)[redacted],平23(受)[redacted])	違法な捜索差押許可状発付 第一審/[redacted]/国に対する請求棄却/原告ら控訴 控訴審/[redacted]/控訴棄却/控訴人ら上告・上告受理申立て
損害賠償請求事件	12	東京高裁 (平22(ネ)[redacted])	違法な捜索差押許可状発付 第一審/[redacted]/国に対する請求棄却/原告控訴
損害賠償請求事件	32	最高裁 (平22(オ)[redacted])	違法な捜索差押許可状発付 第一審/[redacted]/請求棄却/原告ら控訴 控訴審/[redacted]/控訴棄却/控訴人ら上告・上告受理申立て
損害賠償請求事件	3	最高裁 (平22(受)[redacted])	違法な逮捕状及び勾留状発付 第一審/[redacted]/裁判官に対する請求棄却/原告1名控訴 控訴審/[redacted]/控訴棄却/控訴人上告受理申立て
損害賠償請求事件	10	最高裁 (平22(オ)[redacted],平22(受)[redacted])	違法な付審判決定 第一審/[redacted]/請求棄却/原告控訴 控訴審/[redacted]/控訴棄却/控訴人上告・上告受理申立て
損害賠償請求事件	57	東京地裁 (平21(ワ)[redacted])	違法な有罪判決(控訴審で破棄・無罪確定)
損害賠償請求事件	0	神戸地裁 (平21(ワ)[redacted])	違法な勾留
損害賠償請求事件	4	最高裁 (平23(オ)[redacted],平23(受)[redacted])	違法な執行猶予取消決定及び同決定の事実認定 第一審/[redacted]/請求棄却/原告ら控訴 控訴審/[redacted]/控訴棄却/控訴人ら上告・上告受理申立て
損害賠償請求事件	0	福岡高裁宮崎支部 (平22(ネ)[redacted])	違法な勾留 第一審/[redacted]/請求棄却/原告控訴 控訴審/[redacted]/控訴棄却/控訴人上告
損害賠償請求事件	9	東京地裁 (平21(ワ)[redacted])	違法な勾留
損害賠償請求事件	4	東京地裁 (平22(ワ)[redacted])	違法な勾留及び捜索差押許可状発付
損害賠償請求事件	9	東京地裁 (平22(ワ)[redacted])	違法な捜索差押許可状発付
損害賠償請求事件	9	さいたま地裁 (平22(ワ)[redacted])	違法な逮捕状，捜索差押許可状，検証許可状の各発付，勾留
損害賠償請求事件	5	岡山地裁 (平22(ワ)[redacted])	違法な証拠不採用
損害賠償請求事件	2	東京地裁 (平22(ワ)[redacted])	違法に裁判員裁判を受けさせられたこと
損害賠償請求事件	3	大津地裁 (平22(ワ)[redacted])	違法な逮捕状及び勾留状
損害賠償請求事件	0	福岡高裁宮崎支部 (平23(ネ)[redacted])	違法な準抗告棄却決定 第一審/[redacted]/請求棄却/原告控訴
損害賠償請求事件	3	東京地裁 (平22(ワ)[redacted])	違法な捜索差押許可状発付
損害賠償請求事件	1	東京地裁 (平22(ワ)[redacted])	違法な捜索差押許可状発付
損害賠償請求事件	7	東京地裁 (平22(ワ)[redacted])	違法な捜索差押許可状発付
損害賠償請求事件	1	小田原簡裁 (平22(ハ)[redacted])	違法な捜索差押許可状発付
損害賠償請求事件	0	東京地裁立川支部 (平22(ワ)[redacted])	違法な勾留及び勾留延長

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明、今後の予定等)
損害賠償請求事件	5	東京地裁 (平21(ワ[redacted]))	違法な勾留及び勾留更新
損害賠償請求事件	26	大阪地裁 (平22(ワ[redacted]))	違法な裁判
損害賠償請求事件	0	札幌地裁室蘭支部 (平23(ワ[redacted]))	最高裁が上告書を返還したこと
損害賠償請求事件	7	東京地裁 (平22(ワ[redacted]))	違法な勾留
損害賠償請求事件	1	名古屋地裁 (平23(ワ[redacted]))	違法な訴訟指揮 ※　訴え提起H23.3.8
慰謝料請求事件	1	東京地裁 (平23(ワ[redacted]))	裁判のねつ造，不法な裁判 ※　訴え提起H23.3.23
損害賠償請求事件	0	東京地裁 (平23(ワ[redacted]))	事実認定の誤り ※　訴え提起H23.3.22
合計	248		
行政事件に起因するもの			
国家賠償請求上告事件	19	最高裁 平成23年(オ)第[redacted]号	原告が提起した別件労働事件及び再審請求事件において，福島地裁の裁判官が原告の主張をないがしろに扱い，害意をもって棄却判決した職務行為が違法であるとして損害賠償を訴求 [redacted]決定(上告棄却・不受理)
国家賠償請求上告受理事件	19	最高裁 平成23年(受)第[redacted]号	同上
慰謝料請求控訴事件	0	広島高裁 平成22年(ネ)第[redacted]号	原告が提起した広島地裁平成20年(行ウ)第[redacted]号事件等の審理において陳述をさせず，また調書をねつ造するなどして原告の裁判を受ける権利を侵害したとして慰謝料を訴求
国家賠償請求控訴事件	2	東京高裁 平成22年(ネ)第[redacted]号	第1回口頭弁論期日において，原告が直前に入手した控訴答弁書に対して反論したい旨述べたにもかかわらず，裁判長が弁論を終結し，弁論再開の上申も無視したため，その後に提出した準備書面による反論等を判決の基礎として裁判してもらう機会を不当に奪われたとして慰謝料を訴求 平成23年5月18日上告 [redacted]決定(上告不受理)
国家賠償請求控訴事件	1	名古屋高裁 平成23年(ネ)第[redacted]号	津地裁の裁判所書記官が裁判官の記名・押印のない判決書正本等を送達したことが不当・違法であるとして損害賠償を訴求 [redacted]控訴棄却
慰謝料請求事件	0	東京地裁 平成23年(ワ)第5629号	特許庁に特許を取り消された原告が，取消決定の無効確認及び損害賠償を求める訴えを提起したが，東京地裁の裁判官が，同請求を棄却あるいは却下したのは，裁判官の重大な過失であるとして，原告が被った損害に対する慰謝料を訴求
国家賠償請求事件	0	名古屋地裁 平成23年(ワ)第[redacted]号	名古屋高裁平成21年(行コ)第[redacted]号，同第[redacted]号事件で，請求を棄却された原告が，厚生労働省が通達で運用しているにすぎない解釈を，裁判官が判決で追認したことは，裁判官に付与された権限の趣旨に明らかに背いて権限行使を行ったものであるとして，原告が受けた精神的苦痛に対する慰謝料を訴求
合計	41		
家事事件に起因するもの			
損害賠償請求事件	34	広島高裁 平成22年(ネ)第[redacted]号	成年後見人の適格性について十分な調査をすることなく知的障害者を成年後見人に選任したと主張 (係属中(控訴審))
損害賠償請求事件	5	東京地裁 平成21年(ワ)第[redacted]号	児童福祉法28条事件で，裁判所と児童相談所が共謀して親権行使を妨害し，親権を剥奪したと主張 (係属中)
損害賠償等請求事件	1	福井地裁 平成22年(ワ)第[redacted]号	遺言書が自筆証書遺言でないため無効であるにも関わらず，裁判所が検認手続を行ったことにより，遺言無効確認訴訟を提起せざるを得なかったとして，弁護士費用と慰謝料を求める旨を主張 (係属中(控訴審))
損害賠償請求事件	19	東京高裁 平成23年(ネ)第[redacted]号	遺産分割審判事件に関連した不動産処分禁止仮処分申立事件の中で，供託した担保(国債)の償還請求権が時効により消滅したことについて，裁判所の担保管理義務の中には時効管理義務も含まれると主張 (係属中(控訴審))

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明、今後の予定等)
損害賠償等請求事件	5	東京地裁 平成22年(ワ)第[redacted]号	親権者変更審判がなされるまでに時間が掛かりすぎであること，審判係属中に試行的面接が行われなかったこと，なされた審判により親子の絆が破壊されたため，慰謝料を求める旨を主張 (係属中(控訴審))
慰謝料等請求事件	2	広島高裁 平成22年(ネ)第[redacted]号	裁判所が任意後見契約を発効させた(実際には任意後見監督人選任事件は却下されており発効していない。)ため，原告が申立てをした後見開始申立事件が却下されたとして，精神的損害を受けたとして，慰謝料を求める旨を主張 (係属中(控訴審))
慰謝料等請求事件	1	広島地裁 平成22年(ワ)第[redacted]号	遺産分割調停事件において，裁判官が正確な調停調書が作成されていることを確認する義務を怠ったために，別の訴訟等を提起せざるを得なかったとして，弁護士費用と慰謝料を求める旨を主張 (係属中)
慰謝料請求事件	0	福井地裁 平成22年(ワ)第[redacted]号	遺言書が自筆証書遺言でないため無効であるにも関わらず，裁判所が検認手続を行ったことにより，遺言無効確認訴訟を提起せざるを得ず，判決が確定するまでの間，精神的に不安定な状態に置かれたとして慰謝料を求める旨を主張 (係属中(控訴審))
損害賠償等請求事件	10	福岡高裁 平成23年(ネ)第[redacted]号	遺産分割審判事件において，相続人である原告及びその母の審問を行うことなく，審判がされたことにより，家族関係が崩壊したとして，損害賠償を求める旨を主張 (係属中(控訴審))
損害賠償等請求事件	1	横浜地裁 平成22年(ワ)第[redacted]号	面会交流審判事件において，審判を早急にすること，遅延した理由を書面により明らかにすること，精神的な苦痛を受けたとして，慰謝料を求める旨を主張 ([redacted]一部却下，一部棄却，[redacted]確定)
損害賠償請求事件	44	大阪地裁堺支部 平成22年(ワ)第[redacted]号	成年後見事件において，裁判所が後見監督人に対し，報告を求めることもなく，放置したことにより，成年後見人が成年被後見人の財産を横領したとして，損害賠償を求める旨を主張 (係属中)
慰謝料請求事件	0	神戸地裁姫路支部 平成23年(ワ)第[redacted]号	人事訴訟事件において，協議離婚に合意するとの和解をした原告が，当該人事訴訟事件の担当書記官が勝手に離婚届に署名，押印したとして，慰謝料を求める旨を主張 (係属中)
損害賠償請求事件	0	名古屋地裁 平成23年(ワ)第[redacted]号	裁判所の後見人に対する監督が不十分であったことを理由として，成年被後見人の相続人である原告が慰謝料を求める旨を主張 (係属中)
合計	122		
会計事務に起因するもの			
損害賠償請求事件	57	静岡地裁 平成22年(ワ)第[redacted]号	庁舎工事の請負業者が下請業者に代金を支払わなかったため，下請業者が国と元請業者に対し代金の支払いを求めた(H22.2.18 提訴　係属中)
損害賠償等請求事件	25	静岡地裁 平成22年(ワ)第[redacted]号	庁舎改修工事の掘削作業中により生じた段差に気付かず落下して足を骨折するなどの負傷を負った裁判所職員が，公務災害認定が遅れたことによる精神的慰謝料等の支払いを求めた(H22.10.8提訴　係属中)
合計	82		
合計	1,387		

(注1)名称等欄は，事件の通称名を記載
(注2)金額欄は，平成22年度末時点において考えられる金額(金額が不明な場合は「－」)
(注3)百万円未満の場合には「0」とする。
(注4)事件番号毎に記入
(注5)訴訟額が10億円以上の訴訟については，「国の貸借対照表」において事件名を掲載する。
(注6)係争中の訴訟等で損害賠償額が10億円を超える場合は個別の件名を記載する。
(注7)その他の主要な偶発債務に関しても記載する。